

平成 26 年 3 月 19 日 (水)

平成 26 年度えりも地域ゼニガタアザラシ対策事業 (案)

1. 被害防除対策に関する事業

1) おとり網の設置

- ・ゼニガタアザラシの被害の大きい箇所におとり網を設置することにより、他の定置網へのゼニガタアザラシの侵入を減らすことを検討する。
- ・既存の定置網の一部を、漁網の改良やモニタリング等、調査に協力していただく名目で環境省が借り上げることを検討する。

2) 追払い

- ・漁業者に協力をいただき実施データを得る。

3) 音波忌避装置の検討

- ・装置の改良と共に、他の手法との併用（音が鳴ったときに嫌なことが起こる等を学習させるような組み合わせの手法等）も検討する。漁業者に協力をいただき実施データを得る。

4) 漁網の改良（推進費）

- ・侵入防止枠の改良、常習犯の成獣アザラシを生きのまま確保してお仕置きする等の改良を検討する。漁業者に協力いただき改良網の試行を行う。

2. 調査に関する事業

1) ヘリセンサス

- ・平成 25 年度に引き続き、有人ヘリを飛ばしてえりも漁協管内のセンサスを実施する
- ・襟裳岬付近については、無人ヘリも活用する。
- ・実施時期はアザラシがもっとも岩礁に上陸する時期を選定する（初夏を想定）
- ・道東についてもセンサスを実施する。
- ・陸上からの目視も同時に行い、ヘリセンサスとの誤差を算出する。

2) モニタリング

- ・捕獲したゼニガタアザラシの体長、体重、皮下脂肪圧測定及び性別確認、さらに年齢、遺伝的特性、胃内容物、出産歴や繁殖年齢等の調査を実施する。

3) 生態解明調査

- ・混獲されたゼニガタアザラシに電波発信機を装着し、上陸頻度を調査し、生息個体数の推定につなげる。
- ・さらに、上記個体の一部に 2 種類の音波発生装置を装着し、同じ個体が同じ定置網をどのくらい利用しているのか、定置網内でどのような捕食をしているのか等を明らかにする。

4) 数量解析

- ・絶滅危惧種選定の再評価のための数量解析による絶滅確率計算の手法を確立する。
- ・10 頭を目処に、メスの成獣を捕獲し、繁殖に関する正確な情報を調査する。

5) 科学委員会(専門家会合)、協議会(検討会)

科学委員会においては、専門家によるモニタリング、調査等の結果の評価、分析、提案を実施。協議会においては、行政機関、地元関係者、専門家等による保護管理計画、事業計画の評価、検討、協議を実施。

3. その他の事業

1) 海外調査

- ・ 5月～6月を目処に、ゼニガタアザラシ対策の先進地であるスコットランドに出向いて現地調査及び事例収集を行い、今後の防除対策等に反映させる。
- ・ 環境省及びえりも漁協関係者3名程度を予定している。